

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の基本的な構造および生体の機能と仕組み、身体内外に起こる諸現象とその要因など、いわゆる生命現象を知る科目である。各器官系別に、緻密で精妙な生体の構造形態と機能の基本的な特性、また、病態との関連性についても、マクロ・ミクロの両面からアプローチし、恒常性の維持に関する内容も含めて解説する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・心臓や血管、リンパ管など循環器系の構造と形態および機能、血圧と脈拍、循環調節、リンパ循環についてその特徴を理解し説明できる。 ・泌尿器系の構造と形態および機能、尿の生成と排泄、腎機能について、その特徴を理解し説明できる。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	循環器系：循環とその役割、動脈と静脈および動脈血と静脈血				竹内 法子
2	：心臓の構造と機能－心筋、弁、刺激伝導系、心臓の神経支配と反射				
3	：心臓の構造と機能－心周期、心音、心拍数と心拍出量の調節、 循環の恒常性				
4	：血管の構造と機能－血管壁の構造、血管の分類				
5	：血管の構造と機能－血流および血流配分、血流調節				
6	：循環－動脈系の循環				
7	：循環－静脈系の循環				
8	：循環－特殊な部位の循環(冠循環、脳循環、門脈系循環、胎児循環)				
9	：血圧と生理的動揺、脈拍、脈波				
10	：リンパ系および細網内皮系の構造と機能－リンパ管、リンパ節、 胸腺、脾臓、生体防御機構				
11	泌尿器系：尿の組成と性状、尿量、尿の生成				
12	：腎臓の構造と機能－腎小体の機能(糸球体濾過量、クリアランス)				
13	：腎臓の構造と機能－尿細管の機能(再吸収と分泌)、物質の動態				
14	：尿量の変動と調節(利尿と抗利尿)、体液性状の調節、R-A-A系				
15	：尿管・膀胱・尿道の構造と機能、尿の排泄				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書および参考書を基本に、配付資料も加えて授業を行う。 ・配付資料は内容を理解して、授業および自習に活用する。 ・講義内容を十分に復習し、理解を深めること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを、隔回または不定期で行う。 ・定期試験(70%)および小テスト(30%)により総合評価する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とする。やむを得ない理由の場合は考慮することがある。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
人体の構造と機能 第5版		内田さえ、佐伯由香、原田玲子		医歯薬出版株式会社	
ぜんぶわかる人体解剖図		坂井建雄、橋本尚詞		成美堂出版	
新編 カラーアトラス組織・細胞学		岩永敏彦、木村俊介、小林純子		医歯薬出版株式会社	
〔参考書〕					
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能		岩谷良則		医学書院	
最新臨床検査学講座 解剖学		秋田恵一、星治		医歯薬出版株式会社	
最新臨床検査学講座 生理学		奈良信雄、和田隆志		医歯薬出版株式会社	